

インターネット上には、イスラム教への改宗がいかに容易かを説明する記事が多くありますが、同時に人々がイスラムを受け入れるのを妨げるような情報や動画も少なくありません。多くの改宗者が、自身の体験を語っており、私たちが彼らの喜びを分かち合うことができます。

このシリーズでは、イスラムへの改宗によって得られる恩恵について、さまざまな側面から詳しく探っていきます。

1. 人為的な制度や有害な生活様式からの解放

イスラムは、人間の心を迷信や信仰の混乱から解き放ち、魂を墮落や罪から救い出し、抑圧や恐怖からも自由にします。

アッラーの御意志に服従することは、決して自由を奪うことではなく、むしろ真理と知識によって心を武装し、真の自由を与えるのです。

イスラムに改宗した人は、さまざまな思想や主義に縛られることなく、また金銭の奴隷になることもありません。迷信から解放されることで、運や不運に振り回されず、すべての出来事はアッラーからのものであると理解できるようになります。

預言者ムハンマド（彼に平安あれ）はこう語っています：

「信者のすべての事柄は善である。順境にあえば感謝し、それは彼にとって善であり、逆境にあえば耐え忍び、それもまた彼にとって善である。」



2. アッラーの愛を実感できる
イスラムに改宗すると、その人は人生の指針であるクルアーンに従って生きようになります。そして、預言者ムハンマド（彼に平安あれ）を模範とすることで、アッラーの愛を得ることができるのです。

アッラーは宇宙を創造し、混乱の中に放置することなく、安定をもたらす道具を与えてくださいました。人間はその道具を握ることで、平和と調和のある社会を築けるのです。

クルアーンにはこうあります：

「言え、『もしあなたがたがアッラーを愛しているのなら、私（ムハンマド）に従いなさい。そうすればアッラーはあなたがたを愛し、あなたがたの罪を赦される。アッラーは赦しに富み、慈悲深い方である。』」

(クルアーン 3:31)

「イスラム以外の宗教を求める者は、それを受け入れられず、来世では失敗者となる。」

(クルアーン 3:85)

「宗教において強制はない。真理は誤りとはっきり区別されたのだから。悪を拒否してアッラーを信じる者は、決して壊れないしっかりした握りを手にしたことになる。」

(クルアーン 2:256)

3. アッラーの約束する永遠の楽園を得る

クルアーンによると、楽園とは信仰ある者への報奨であり、永遠の幸福の地です。信仰を持たず、アッラー以外の存在を崇拝した者や、アッラーに子や同等者がいるとする者は、来世で火獄に落ちるとされています。

改宗はまた、墓の中での苦しみや復活の日の罰からも守ってくれます。

「信じて善行を行う者には、天国の高殿に住ませよう。その下を川が流れ、永遠にそこに住むことになる。行いの報いはなんと素晴らしいことか！」

(クルアーン 29:58)

4. 内面的な平安と満足感の獲得

「イスラム」という言葉自体が、「平安」や「安全」といった意味を持つ語根「サラマ」に由来します。イスラム、ムスリム（イスラム教徒）、サラーム（平和）なども同じ語根です。

つまり、イスラムに帰依した人は、アッラーの命令に服従し、生まれ持った安心感を再発見し、真の心の平和を得るのです。

完全な幸福は来世の楽園にありますが、この世でもアッラーの喜びを求め、純粋に、そして唯一アッラーのみを崇拝することで、幸福で安定した人生を送ることができます。

次章では、イスラムに改宗することによるさらなる恩恵、たとえば「赦しと慈悲」「試練と困難の意味」について掘り下げていきます。



チャット&ディスカバリー

イスラム教に改宗することの恩恵

